



旭化学工業株式会社

(証券コード:7928 東京証券取引所スタンダード市場)



2024年8月期
決算説明資料及び
中期経営計画の更新

<https://www.asahikagakukogyo.co.jp>

会社概要

(2024年8月31日現在)

企業名	旭化学工業株式会社 Asahi Kagaku Kogyo Co., Ltd.
設立	1966年9月
代表者	取締役社長 杉浦 武
資本金	671百万円
発行済み株式数	3,896,000株
上場市場名	東証スタンダード (7928)
本社 (工場)	碧南市港南町2丁目8番地14
本社事務部門 及び安城工場	安城市城ヶ入町広見133番地3
海外子会社	中国：旭日塑料制品（昆山）有限公司 タイ：ASAHI PLUS CO.,LTD.
従業員数 (合計540名)	(連結) 社員482名 臨時雇用者数58名
事業内容	電動工具及び自動車部品等の樹脂成形、 電動工具の組付、 樹脂成形用金型の設計製作、 並びに自社製品である建築資材の製造販売
主な得意先	(株) マキタ、(株) イノアックコーポレーション、 豊田合成(株)、トヨタ紡織(株)、 (株) デンソーウェーブ

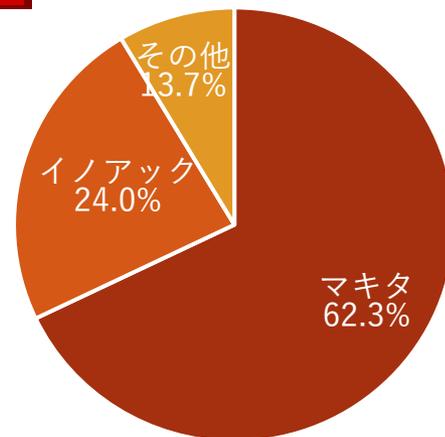
経営理念

「愛されるプラスチックメーカー」
を目指して！

合理化の追求…良い考え
信頼性の重視…良い商品
人間性の尊重…良い職場

人・物・金は企業にとって限度がある。
限度あるものを最高に生かすのが事業である。

取引先別売上高





自社製品（建築用資材）



ビッグアンカー1/2 Mk-II



ストロングプラグ



極美 GOKUBI



AXプラグ



アンカーピン



ノーブルアンカー

電動工具メーカー向け成形品



ハウジング



モーターハウジング



モーターハウジング



ハウジングカバー



モーターハウジング



プラスチックケース

自動車部品メーカー成形品



機能部品



グリップ部品



内装部品



ピラー部品



インパネ部品



ピラー部品

その他成形品



スキャナー部品



ロボット部品



ロボット部品



スキャナー部品

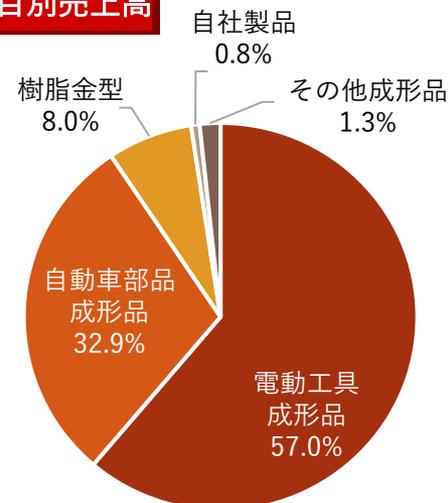


スキャナー部品



医療用樹脂ケース

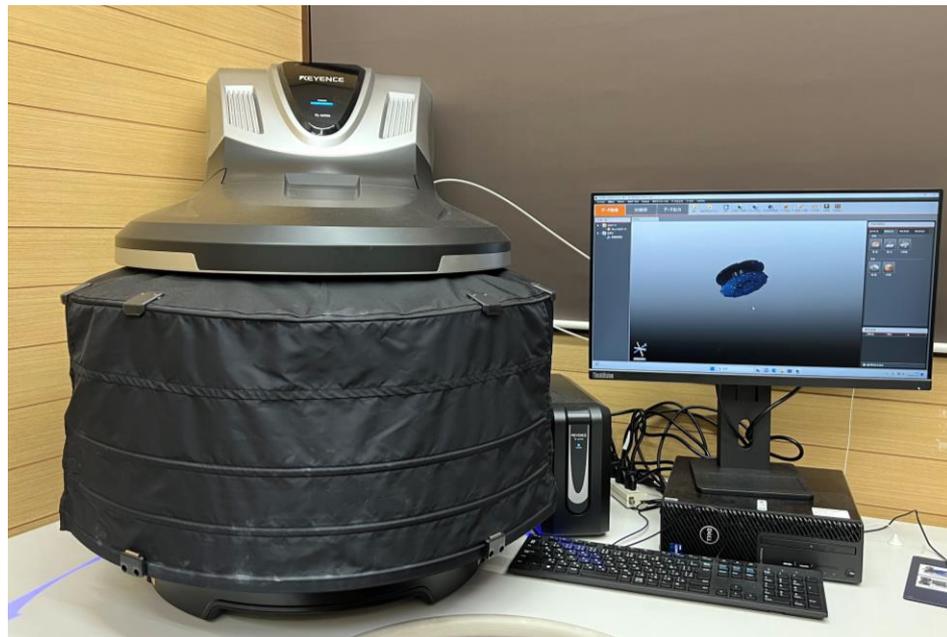
品目別売上高



所在地	愛知県碧南市港南町2丁目8番地14		
敷地面積	16,588㎡		
建物	成形工場・加工棟	各1棟	
	自動倉庫・倉庫	各1棟	
射出成形機 (合計16台)	1,300 t	3台	
	850 t	5台	
	650 t	7台	
	450 t	1台	
従業員数 (合計82名)	社員70名	臨時雇用者数	12名



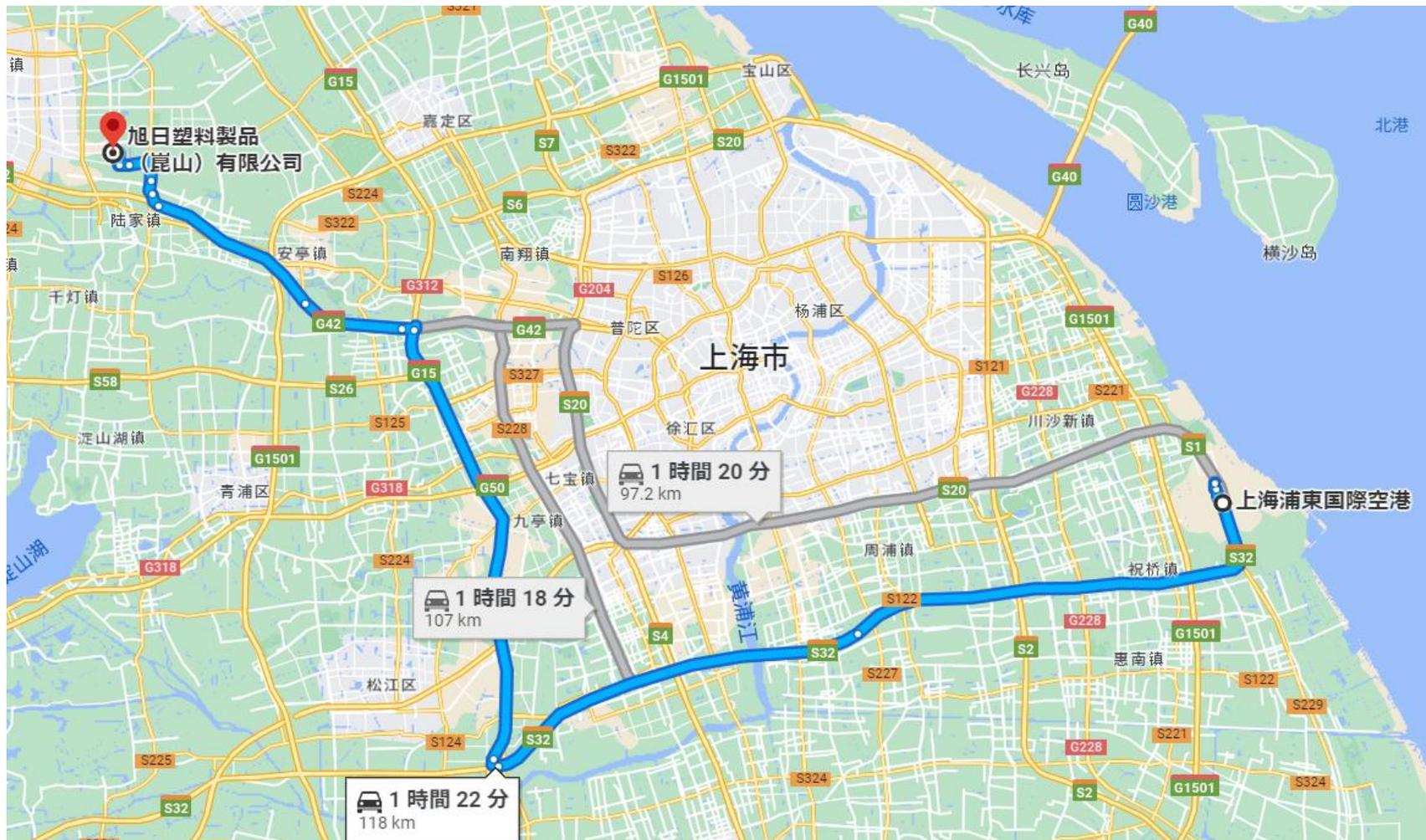
所在地	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
敷地面積	6,308㎡
建 物	工場 3棟、事務所・食堂 1棟
射出成形機 (合計22台)	600t 1台
	450t 7台
	350t 2台
	280t 1台
	220t 4台
	200t 3台
	150t 3台
	100t 1台
従業員数 (合計87名)	社員 85名 臨時雇用者数 2名



企業名	旭日塑料制品(昆山) 有限公司			
設立	2001年12月			
代表者	總經理 手島 淳			
資本金	624万U S \$(旭化学工業100%出資)			
敷地面積	27,257㎡			
所在地	中華人民共和國江蘇省昆山市 昆山經濟技術開發區盛希路20號			
建物	工場棟2棟 事務所棟1棟 食堂棟1棟 守衛室1棟			
射出成形機 (合計57台)	800t	1台	700t	1台
	530t	5台	470t	5台
	450t	1台	380t	4台
	360t	1台	350t	2台
	320t	2台	230t	1台
	220t	2台	200t	5台
	190t	1台	180t	1台
	160t	16台	150t	2台
	120t	2台	100t	2台
90t	2台	80t	1台	
従業員数 (合計280名)	社員	256名	臨時雇用者数	24名
主な得意先	牧田(中国) 有限公司 牧田(昆山) 有限公司			



地图 旭日塑料制品（昆山）有限公司

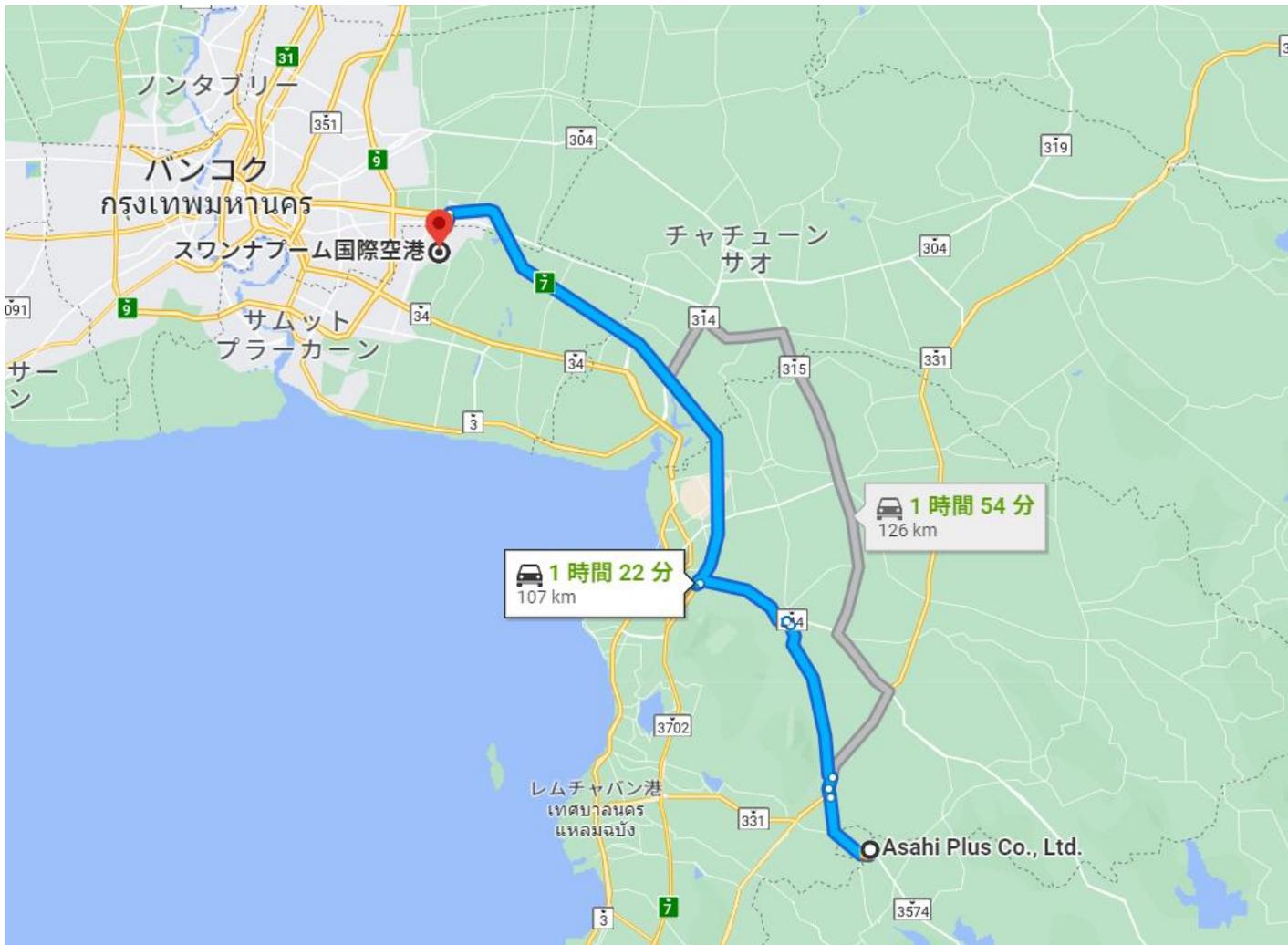




ASAHI PLUS CO.,LTD

企業名	ASAHI PLUS CO.,LTD	
設立	2011年7月	
代表者	南 幸一	
資本金	5億9,000万バーツ (旭化学工業100%出資)	
敷地面積	25,998㎡	
所在地	タイ王国 ライヨン県	
建物	工場棟1棟	
射出成形機 (合計15台)	450t 2台	350t 3台
	280t 4台	230t 1台
	180t 3台	110t 2台
従業員数 (合計91名)	社員71名 臨時雇用者数20名	
主な得意先	Makita Manufacturing(Thailand) Co.,Ltd. ROKI(THAILAND) Co.,Ltd. RICOH(THAILAND) Co.,Ltd.	





創業
1962年
設立
1966年

創業期

- 愛知県碧南市大字鷺塚字川岸浜36番地（現 愛知県碧南市神有町7丁目11番地）において、プラスチック製品の成形及び加工を目的として資本金2,000千円にて旭化学工業株式会社設立
- 製造品目を日用雑貨用品より、工業部品（自動車）に全面切替える
- （株）マキタ（旧商号（株）マキタ電機製作所）と取引開始、電動工具成形品の生産を始める

1978
年

第1次 成長期

生産能力
の強化

- 需要の増大に対応するため、愛知県安城市城ヶ入町に安城工場を新設
- 需要の拡大に対応するため、安城工場を増設
- 本社事務部門を本社から安城工場へ移設
- 自社ブランド製品として樹脂アンカープラグを開発、発売

1993
年

- 日本証券業協会に株式を店頭登録

2001
年

第2次 成長期

海外進出

- 中国江蘇省昆山市に旭日塑料制品（昆山）有限公司設立
- 旭日塑料制品（昆山）有限公司の新工場完成、移転
- タイにASAHI PLUS CO.,LTD.を設立

2022
年

創業60周年

製品の品質管理の徹底は会社の信頼をより大きなものにします。

- 全工程での品質管理体制はもちろん、三次元測定器などの精密機器や熟練した人の目で、あらゆる角度から製品を徹底的にチェックしてお届けしています。
- 日本品質を海外拠点でも可能にし、ユーザーのニーズに対応しています。

常に高品質を維持するため、新しい成形技術など、技術開発に努め、精度の限界まで挑戦しています。

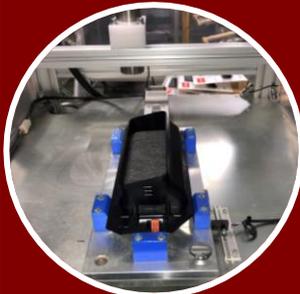
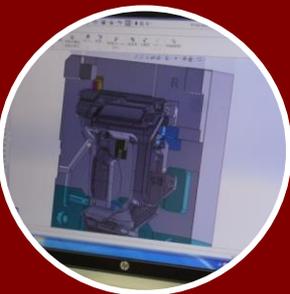
- 豊富な設備と長年培われた技術から高品質な製品を提供しております。
- 自社オリジナル製品の開発・製造も30年前より実施しています。
- 3D・CADや流動解析ソフトなど、先進のテクノロジーを駆使し、新しい成型技術など常に技術開発に努め制度の限界まで挑戦しています。

金型設計から射出成形、アッセンブリまで一貫生産体制で、ハイクオリティな製品を造りだしています。

- 最高品質の製品をタイムリーにお届けすることができる安定した生産能力にて、お客様のニーズに応じて正確かつ迅速にモノを造っています。
- 大型製品から小型製品、2色成形、異材質成形など、あらゆる製品に対応しています。



当社の強み：一貫生産システム



ハイクオリティな製品をつくりだす、旭化学工業ならではの綿密な一貫生産システム

金型設計

長年のノウハウと最新のシステムで、お客様から頂いた製品データから樹脂化するための最適な金型を自社設計

金型製作

自社で金型を設計しているため、成形工程における様々な検討事項を即座にフィードバックし、より高精度な金型を製作

成形

様々な機械と長年の技術で汎用性の樹脂から超耐熱性の樹脂まで、高精度・高品質な製品を成形

加工

細部まで完璧な製品に仕上げするため、超音波ウェルダ、振動溶着機など先進の加工機械を使用して、正確かつ能率的に加工

組付け

機械と人の手により中身のパーツが組み入れられ、エンドユーザーがそのまま使用できるパーフェクトな完成品へ

品質管理

受け入れ検査、工程内検査、出荷検査など、すべての工程で徹底した品質管理



旭化学工業株式会社

(証券コード:7928 東京証券取引所スタンダード市場)



2024年8月期 決算説明資料

<https://www.asahikagakukogyo.co.jp>

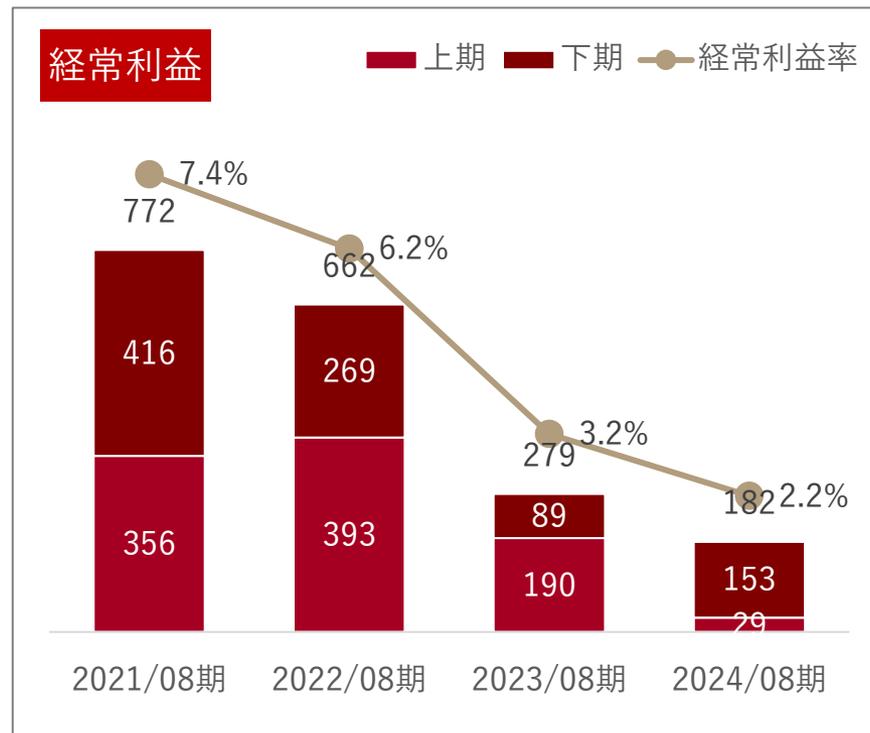
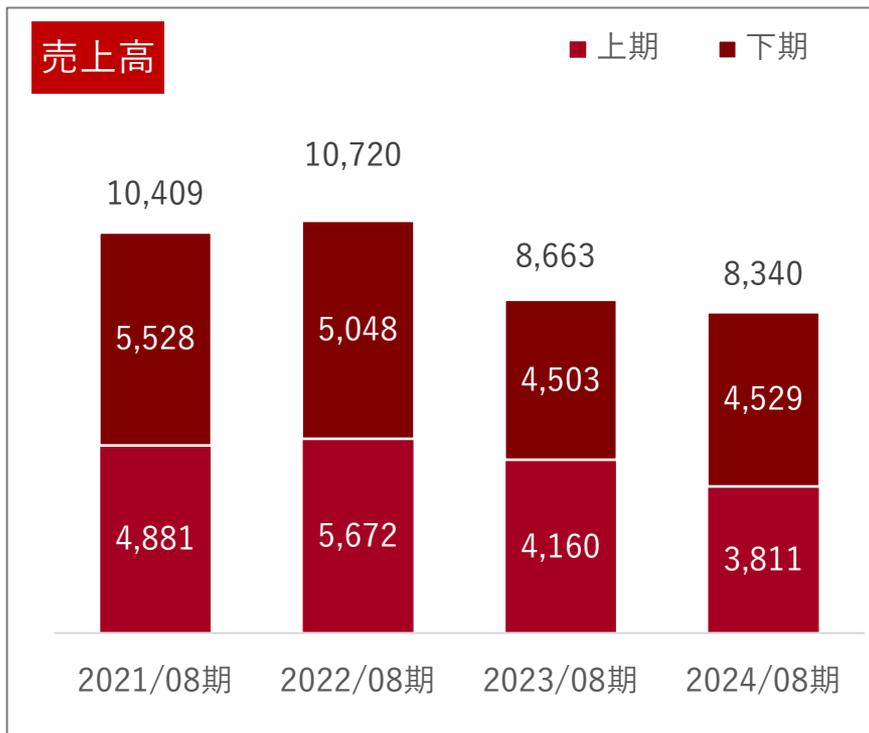
2024年 8 月期(連結) の業績

2024年8月期(連結)の業績概要

- 売上高については、自動車部品は半導体供給不足が解消され堅調に推移しました。電動工具部品は2024年3月頃より取引先の在庫調整が解消され成形品の受注は増加しました。しかし、金型の新規受注は厳しい価格競争より減少しました。
- 利益については2024年6月以降に受注単価の交渉により製品単価の値上げがあったものの、運搬費上昇、人件費上昇、物価高など厳しい状況であった。製造工程については継続して自動化に取り組んでおります。

(百万円)	2023/08期		2024/08期							
	第2 四半期	通期	第2四半期				通期			
			予想	実績	前期比 (%)	予想比 (%)	修正予想 (4月12日開示)	実績	前期比 (%)	予想比 (%)
売上高	4,503	8,663	4,100	3,811	▲15.4	▲7.0	7,700	8,340	▲3.7	8.3
売上総利益 (売上高総利益率)	513 (11.4%)	898 (10.4%)		316 (8.3%)	▲38.4			750	▲16.4	
販管費	363	728		344	▲5.2			712	▲2.1	
営業利益 (営業利益率)	149 (3.3%)	169 (2.0%)	55 (1.3%)	▲28 —	—	—	5 (0.1%)	37	▲77.7	640
経常利益 (経常利益率)	190 (4.2%)	279 (3.2%)	85 (2.1%)	29 (0.8%)	▲84.7	▲65.9	150 (1.9%)	182	▲34.8	21.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	83	23	40	23	▲72.3	▲42.5	110	93	307.7	▲15.5
1株当たり配当	10.0円	3.0円		5.0円			7.0円	12.0	▲7.7	0%
配当性向		176.8%					34.1%	40.0	▲77.4	0%

(百万円)



貸借対照表及び設備投資の状況

(百万円)	2023/08期	2024/08期
資産合計	6,437	6,954
流動資産	3,827	3,583
固定資産	2,609	3,370
負債合計	1,291	1,420
流動負債	1,082	1,231
固定負債	208	189
純資産合計	5,145	5,534
株主資本	4,073	4,142
自己資本比率	79.9%	79.6



2023年11月取得 本社工場 射出成形機1300 t

設備投資

国内	旭化学工業株式会社	成形機、生産附属設備、安城工場事務所改修工事	2億4500万円
中国	旭日塑料制品（昆山）有限公司	生産附属設備、マシニングセンター	4,800万円
タイ	ASAHI PLUS CO.,LTD.	生産附属設備	1,000万円

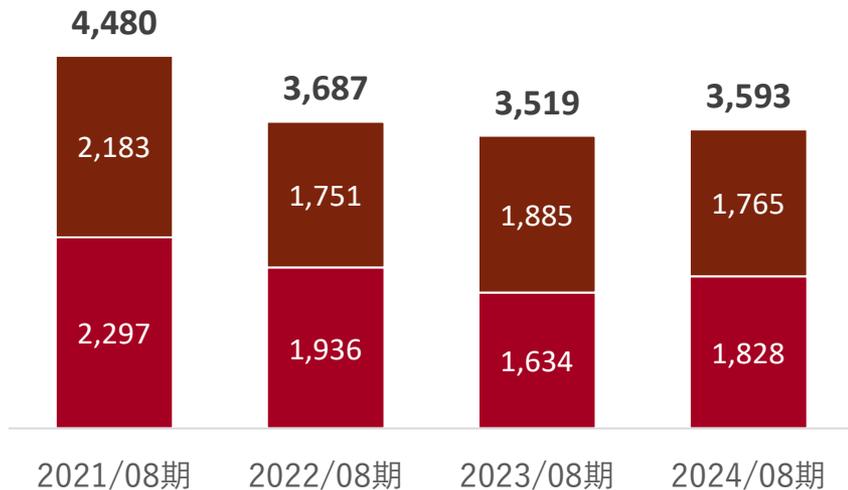
地域別の状況[国内]

- 受注は低水準であった電動工具部品が、2024年3月からは増加し安定してきた。自動車部品については堅調に推移
- 新規に受注した自動車部品のため今期に成形機1300 t を1台購入、利益率の高い大型製品を継続して受注していく
- 安城工場の事務所改修工事を実施
- 2024年10月に研究開発施設（植物工場）を本社（愛知県碧南市）内に建設

(百万円)

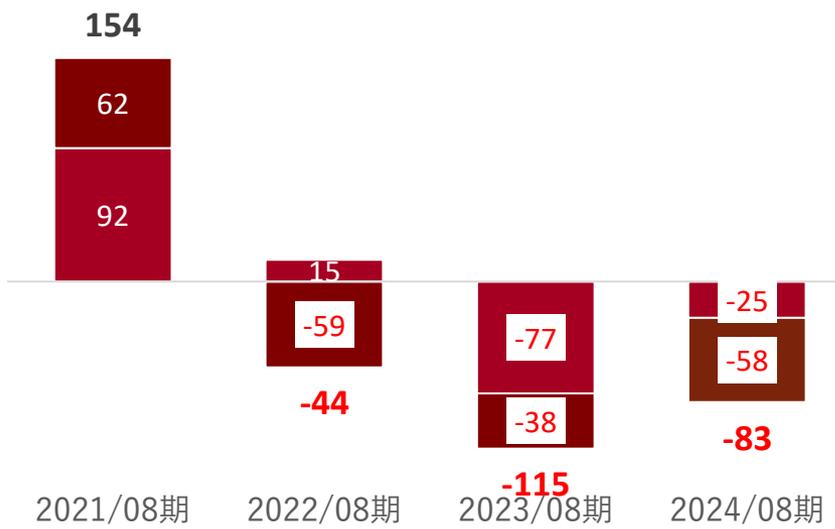
売上高

■ 上期 ■ 下期



営業利益

■ 上期 ■ 下期

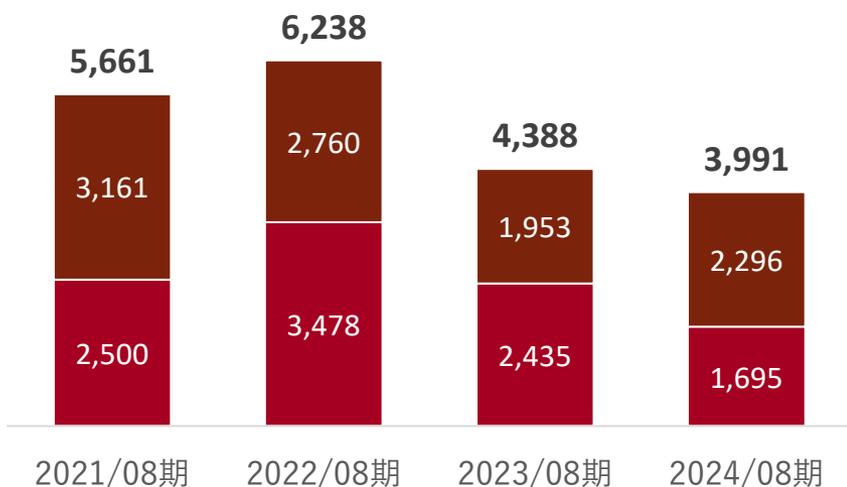


- ・ 生産管理システム導入により情報の共有化
- ・ マシニングセンターを導入し金型部門強化、品質の向上を実現

(百万円)

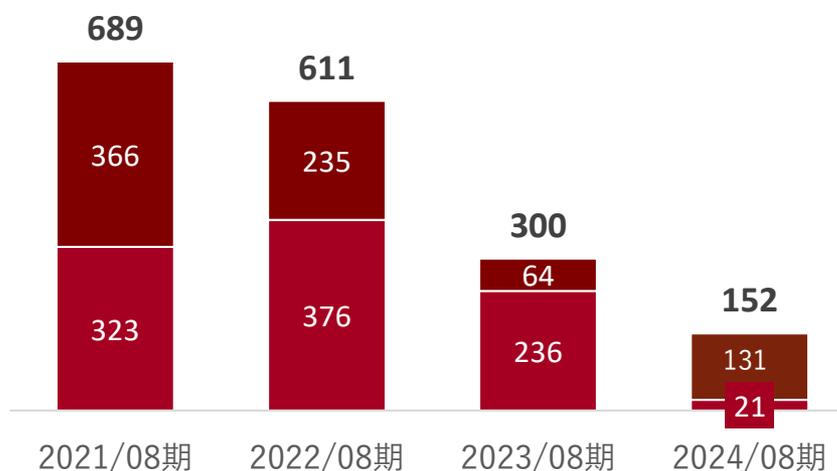
売上高

■ 上期 ■ 下期



営業利益

■ 上期 ■ 下期



想定為替レート

17.11

20.35

19.96

22.35

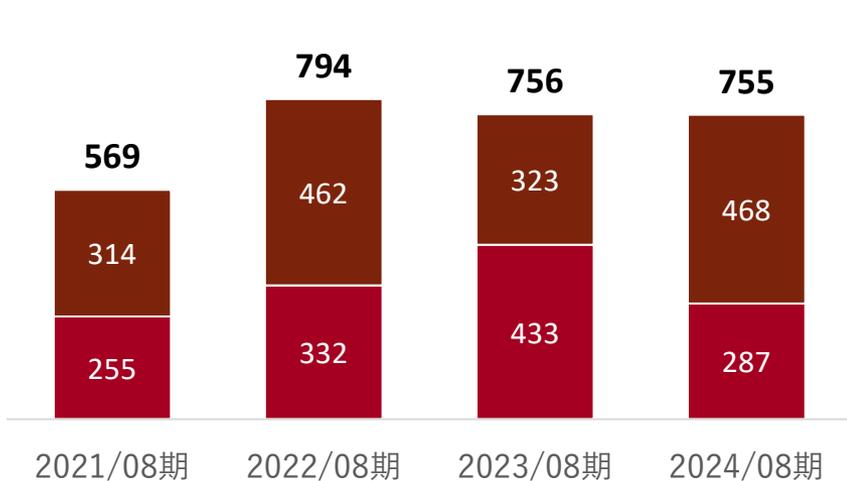
地域別の状況[タイ]

- 成形機を2024年9月に1台、10月1台導入、生産能力13%UP
- 印刷工程の内製化を実施し工場稼働率を上昇へ

(百万円)

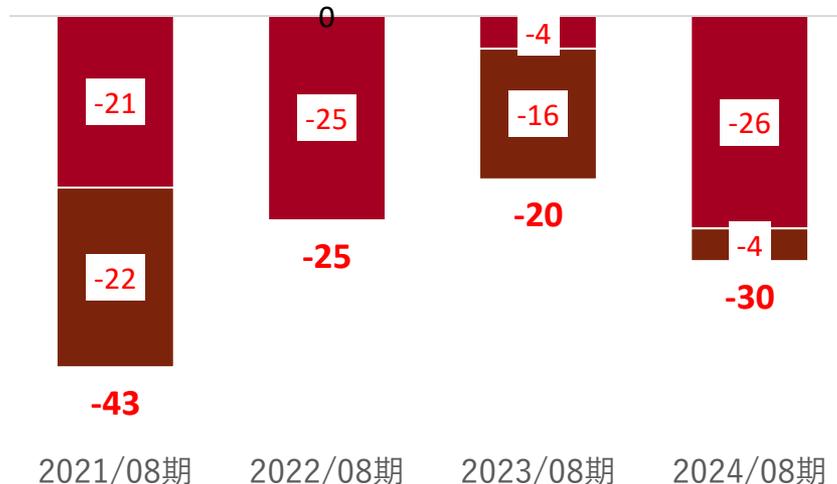
売上高

■ 上期 ■ 下期



営業利益

■ 上期 ■ 下期



想定為替レート

3.44

3.85

4.07

4.36

新工場建設中止

2021年10月12日に当社連結子会社である旭日塑料製品（昆山）有限公司に新工場の建設を決定いたしました。取引先の在庫調整により受注が大幅に減少するなど、事業環境が不透明であることを勘案し工場の建設を中止することを決定いたしました。

建設を中止する新工場の概要

建設場所 中華人民共和国江蘇省昆山市

敷地面積 27,257 m²

建設予定面積 12,500 (延べ) m²

株主優待制度及び下限配当制の導入

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入致しました。

- 8月末時点において、100株以上の株主様を対象に1,000円分のQ U Oカード贈呈

また、下限配当制を導入致しました。

ホームページのリニューアル

2024年4月当社HPをリニューアル致しました。



2024年5月 新商品を販売開始

ALC※1)パネル専用めねじ樹脂アンカーの「BIG Anchor1/2 Mk-II」をリリースいたしました。

※1) ALCは高温高圧蒸気養生という独自の製法による軽量気泡コンクリート建材です。軽さと強度、断熱性をあわせ持ち、現代建築に欠かせない建材です。

特徴

- 開きが確実に簡単に施工可能コーン打込み式。
- 強い引張力・保持力を誇る4段突起採用。
- 6ナイロン樹脂製で耐候性、耐熱性、耐衝撃性、耐薬品性に優れる。



～ALCパネルへの実使用例～

- 共同住宅、商業施設 壁面 等



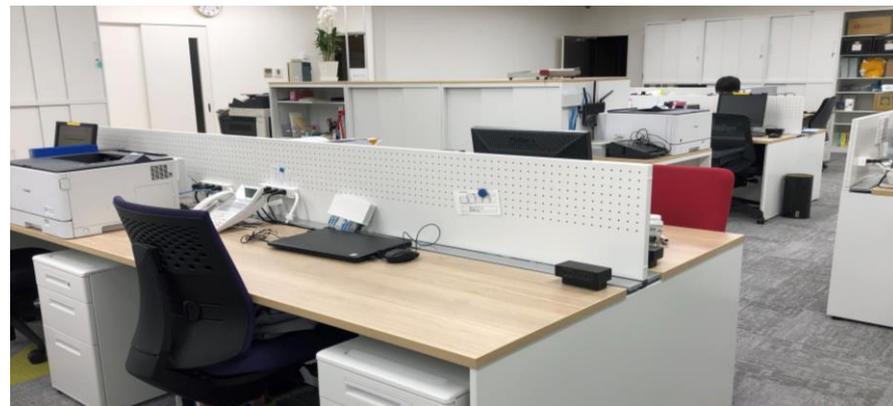
**ALCに対して食い付き
抜群の保持力**



施工断面

2024年8月 安城工場事務所のフロア改装工事の実施

安城工場のフロアの改装工事を行いました。
 職場環境の改善により、優秀な人材の確保と業務の円滑化につなげていきたいと考えております。



SDGs：植物プラントの開始

二酸化炭素排出削減の取組みとして、本社工場の一角で植物プラントを開始いたしました。



当社が目指す姿と 中期経営計画

当社が目指す姿と中期経営計画

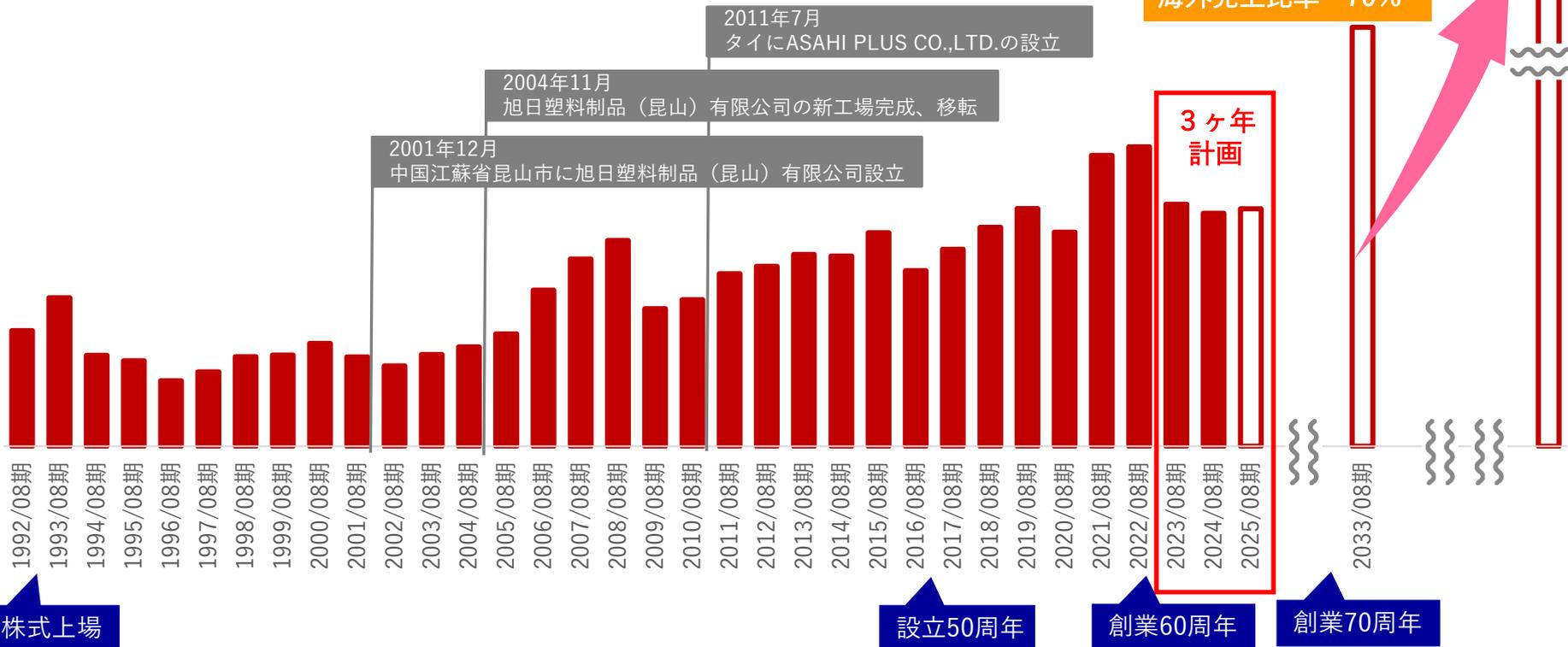
(2023年8月期～2025年8月期)

【当社の目指す姿】
 売上高 300億円
 海外売上比率80%を超える
 グローバル企業へと成長

当社グループは、
 海外売上比率80%を超える
 グローバル企業を目指しており、
 グループの成長を牽引できる
 グローバル人材の育成に力を入れています。

【長期10ビジョン】
 売上高 150億円
 海外売上比率 70%

3ヶ年
 計画



中期経営計画

グローバルで活躍する企業を目指しているものの、地政学的リスクは中長期的に継続するとの見地から、当社グループを取り巻く受注環境はより一層厳しくなると想定され、中期経営計画を下方修正しております。

(百万円)	2023/08期		2024/08期		2025/08期 (予想)	
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期
売上高	4,503	8,663	3,811	8,340	4,300	8,500
売上高総利益	513	898	316	750		
売上高総利益率	11.4%	10.4%	8.3%	9.0%		
営業利益	149	169	▲28	37	20	70
経常利益	190	279	29	182	55	180
経常利益率	4.2%	3.2%	0.8%	2.2%	1.3	2.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	83	23	23	93	10	100
当期純利益率	1.8%	0.3%	0.6%	1.1	0.2	1.2

■ 中期経営計画 (当初計画)

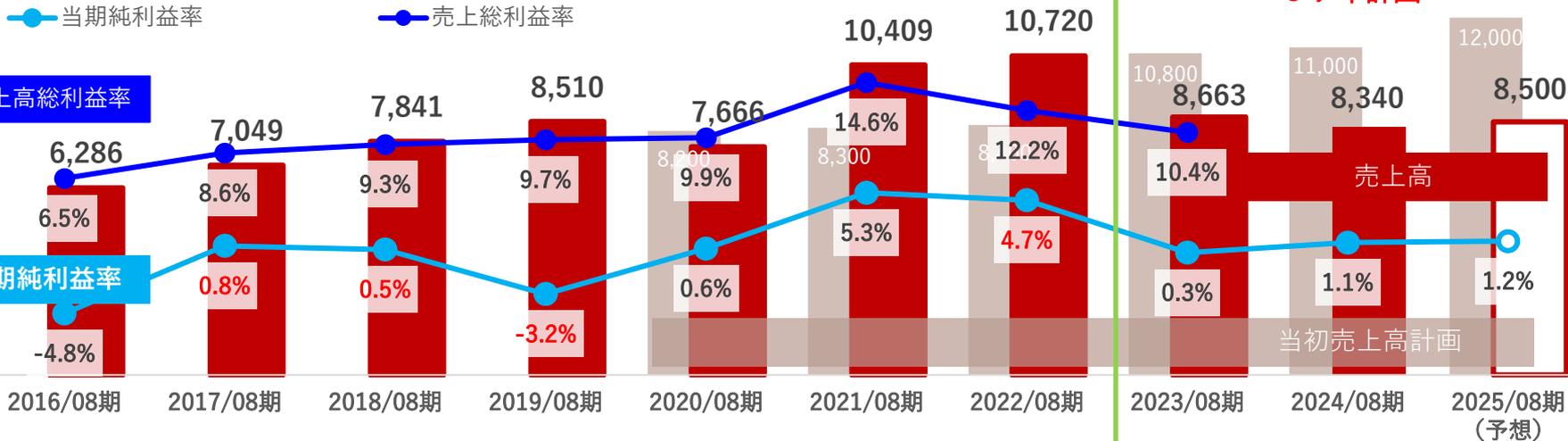
■ 売上高

● 当期純利益率

● 売上総利益率

売上高総利益率

当期純利益率



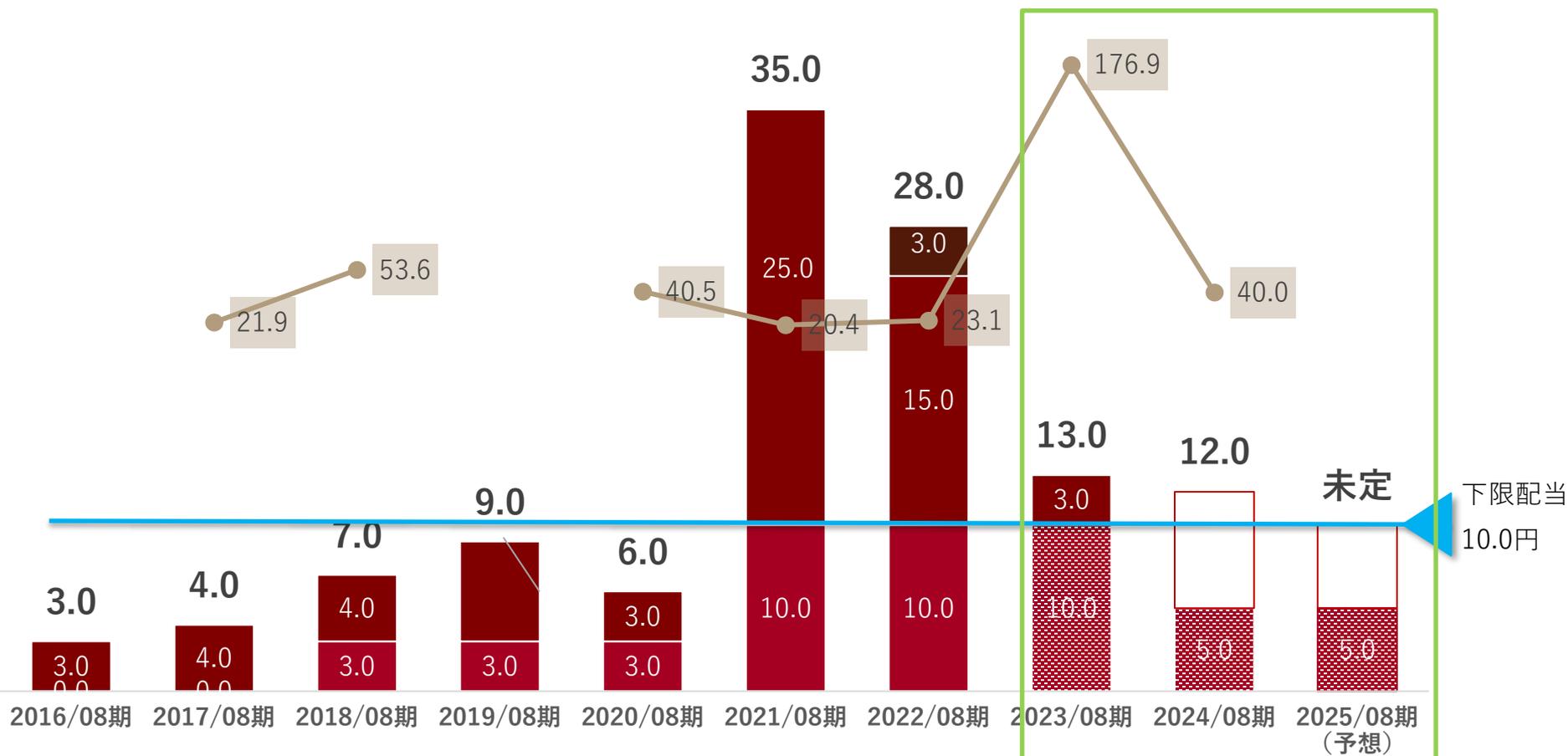
テーマ グローバル競争力の強化と人材育成

重点施策	実施する取組み	K P I	評価	実施状況
技術者の育成 若手技術者と グローバル人材の育成	各種資格取得支援の社内推進 社外講習会への参加推進 能力重視した人事評価と適材適所の組織体制	日本 射出成形技能士資格取得 (1級2名 2級5名) 中国 社内独自の資格制度試験実施 タイ 社外セミナー参加	△	取引先工場見学実施 (自動化設備、品質管理) 日本 射出成形技能士資格取得 (2級5名)
生産性の向上 高品質で量産性の高い成形技術の確立、グループ全体最適化の実現	生産工程及び品質管理の自動化 中国第3工場の稼働 タイ工場の生産能力の拡充	製造効率改善 売上高総利益率20% 経常利益率7%	△	生産工程の自動化設備導入 売上高総利益率9.0% 経常利益率2.2% 中国第3工場建設中止
利益率の改善	自社商品の開発 多色成形機を活用した高付加価値製品の提供	自社商品売上高40%増加 製造効率改善	○	自社商品の新製品販売開始: ビッグアンカー1/2 Mk-II (2024年6月)
サステナビリティの推進 持続的社会的の実現に貢献すべく、社会価値の共創	ハラスメントなど各種研修実施によるガバナンス強化 多様性を尊重した職場づくり 二酸化炭素排出量のゼロを目指す取組み開始	国内育休取得率30% 国内太陽光発電設備設置 女性管理職 (グループ全体7名)	○	国内育休取得率75.0% 女性管理職 (グループ全7名) 脱炭素スクール参加

株主還元方針

財務基盤を堅持しつつ、継続的な株主還元を実現するため、将来の成長投資と株主還元のバランスに基づき、配当性向30%を基本方針としております。
また、下限配当を10円と設定しております。

■ 一株当たり中間配当金 ■ 一株当たり期末配当金 ■ 記念配当金 ● 配当性向



資本コストや株価を
意識した
経営の実現に向けた
対応について

東京証券取引所の要請に従い「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関して、2023年8月期～2025年8月期の中期経営計画に基づいた当社の計画についてご説明します。

現状分析

- ・ 自社の資本コストや資本収益性を的確に把握
- ・ その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価

計画策定・開示

- ・ 改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取組みを取締役会で検討・策定
- ・ その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示

取組みの実行

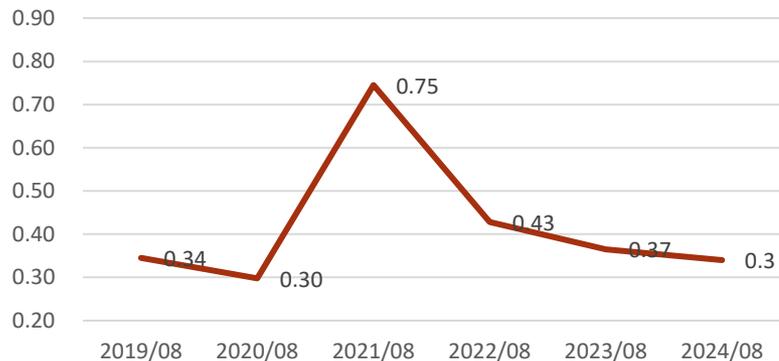
- ・ 計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進
- ・ 開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施

現状分析：PBRとROEの推移

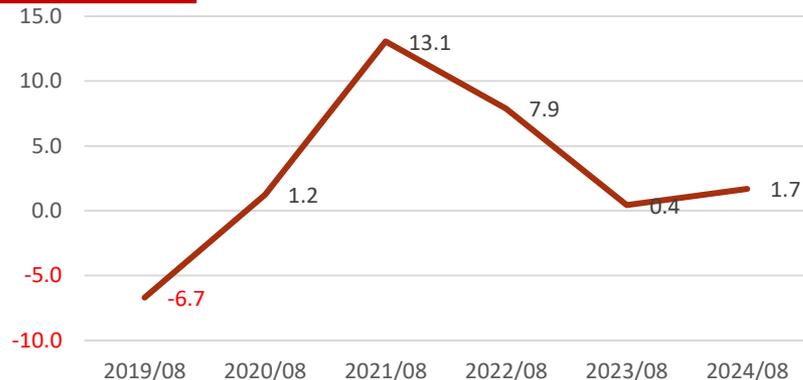
$$PBR = ROE \times PER$$

中期経営計画において目標としているROE 10%に対し、2024年8月期のROE 1.7% PBRは平均、0.5倍を下回っており、この2年は0.4倍を下回って推移している。

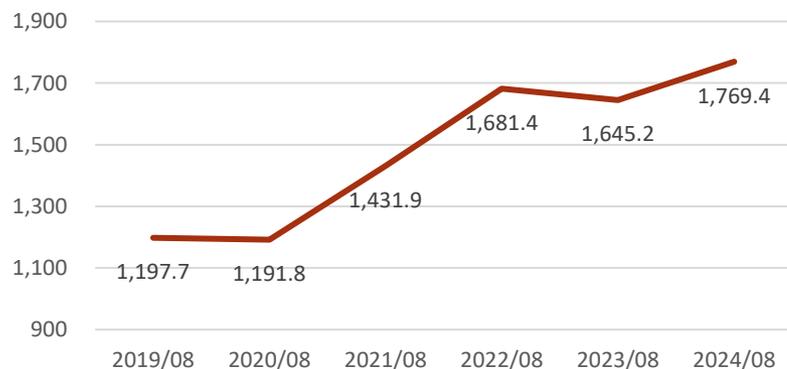
PBR(倍)



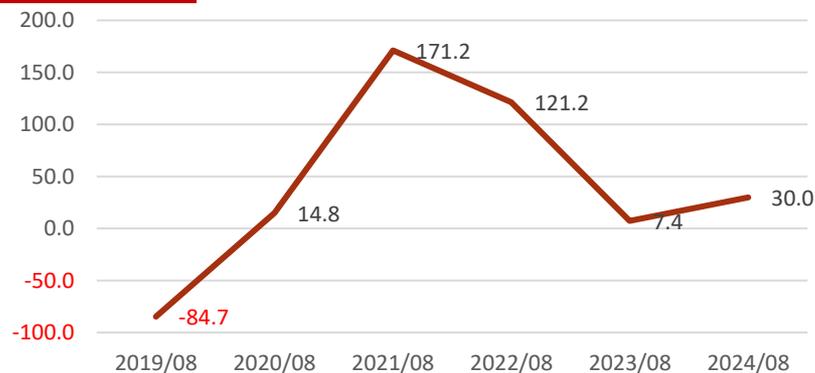
ROE(%)



BPS(円)

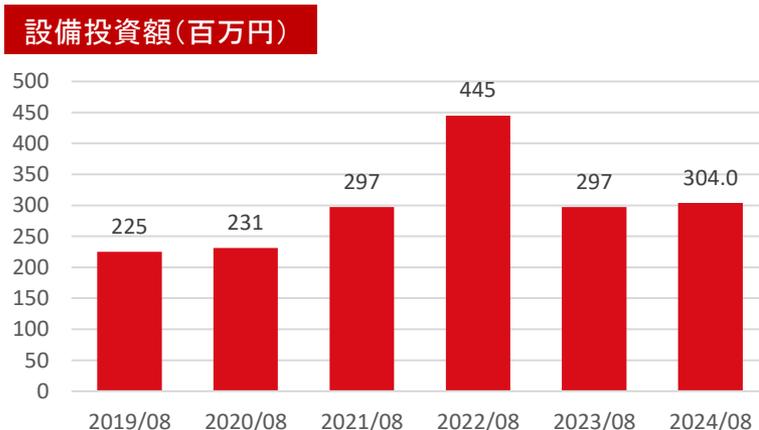
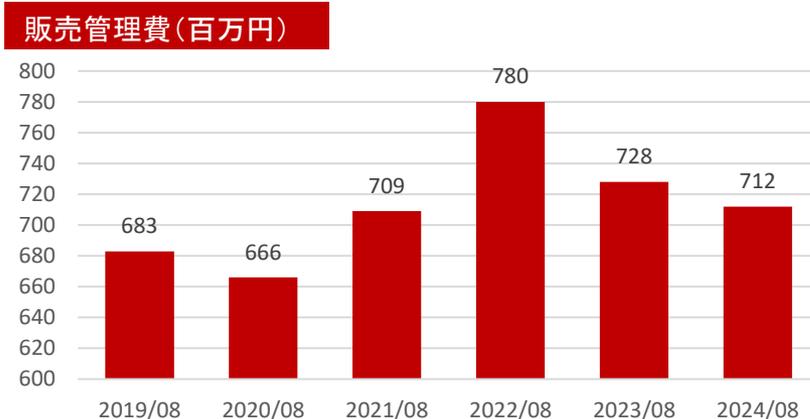
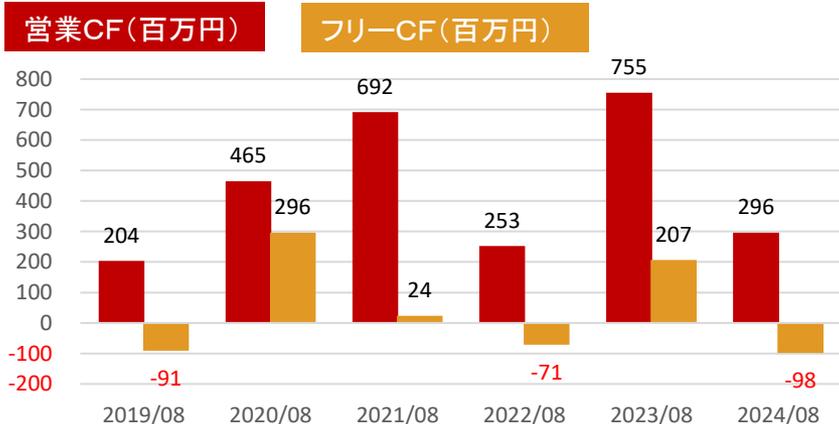


EPS(円)



現状分析：キャッシュの状況

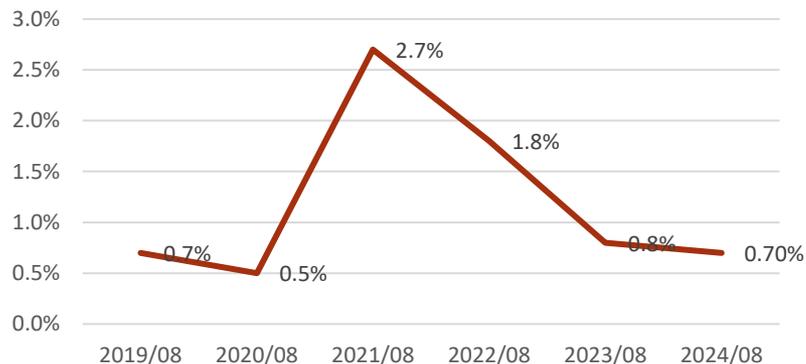
2022年8月期及び2024年8月期に高付加価値製品の製造・開発のための積極的な設備投資を行ったため、フリーキャッシュが減少。



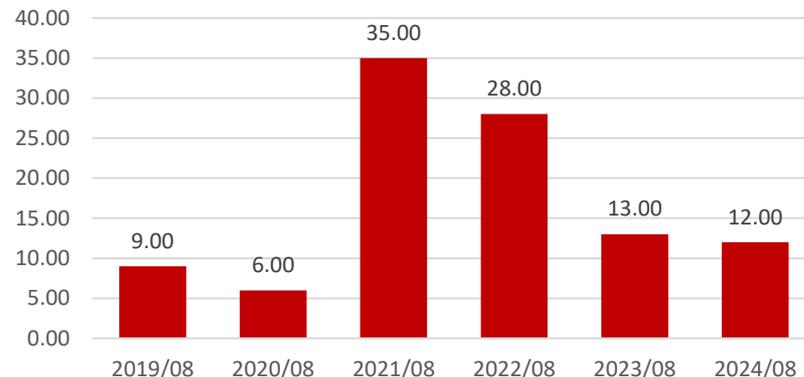
現状分析：株主還元の推移

個人投資家を中心に市場での認知度を高めるため、株主優待も新設。

DOE (%)



一株あたり配当金 (円)

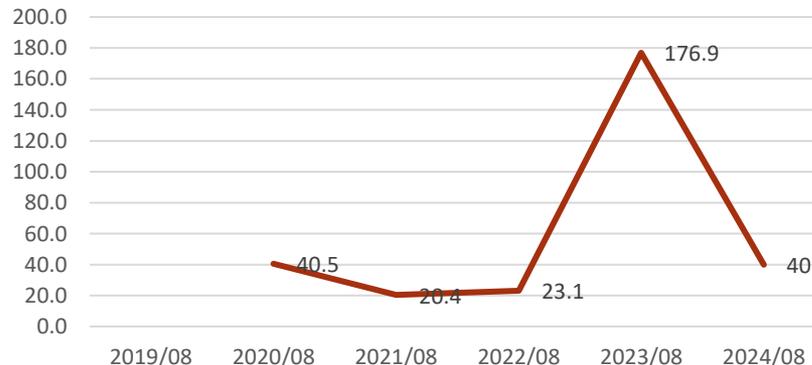


株主優待

保有株数	優待内容
100株以上	QUOカード 1,000円分

※2024年8月31日現在の株主名簿に記載された株主のうち、当社100株以上を保有されている株主様が対象

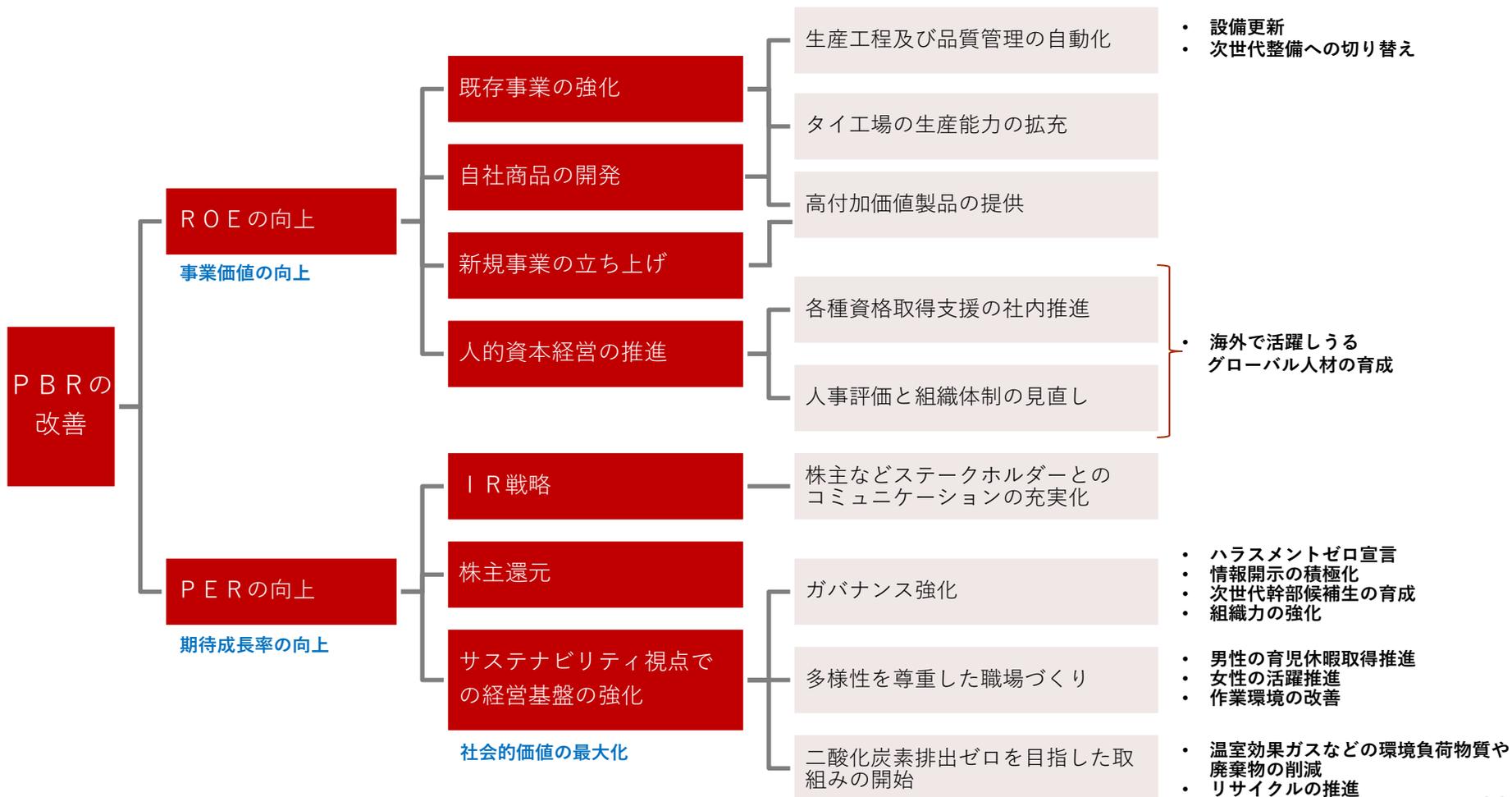
配当性向 (%)



企業価値向上に向けた取組み

投資家が期待する資本収益性をあげられていないことに加えて、市場での当社グループの成長性に対する認知度が低いことがP E Rの低迷要因であると分析しております。

現在遂行中の中期経営計画達成に向けた取組みを進めていくことで、中長期的な持続的成長と成長期待度の向上を図ってまいります。



キャピタルアロケーションポリシー

(2023年8月期～2025年8月期の3年間の累計)

将来的な 取組み方針

- 戦略的な成長投資による収益基盤の強靱化
- 財務的アプローチからの効率的な経営の実行
- I R戦略の強化による経営の透明性
- 社内体制の充実化によるガバナンス体制の強化



本資料に関するご注意

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料で提供している情報は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律、東京証券取引所有価証券上場規程並びにその他関連法令、関係諸規則に基づく開示書類または報告書ではありません。
- 本資料の内容については、将来の予測に関する記述が含まれていますが、こうした記述は、本資料の作成日において入手可能な情報に基づいてなされた本投資法人および本資産運用会社の判断に基づいて行ったものです。将来の本投資法人の業績、経営結果、財務内容等を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては、その正確性及び確実性を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。
- なお、事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止いたします。

お問い合わせ先

総務部

電話番号：（0566）92-4181（代表）

E-mail: y.matsuo@asahikagakukogyo.co.jp

URL: <https://www.asahikagakukogyo.co.jp>